

コミュニティ・スクールだより Vol.3

発行者 松ヶ崎小中学校 学校運営協議会

コミュニティ・スクールディレクター兼地域コーディネーター 石井沙耶

発行日 令和7年12月10日

初冬の候、皆様におかれましてはますますご壮健のことと存じます。平素は学校での教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

11月28日(金)、令和7年度第3回 学校運営協議会を開催いたしました。

会の初めには、松ヶ崎留学部会より来年度入学予定の島留学生について共有し、承認をいただきました。また、学校からは総合的な学習の時間での取り組みについて、小学3.4年生担任の川原先生、中学校教頭より報告をいたしました。

▼川原先生より

1学期には、いごねり作りや養殖施設の見学等を通して、松ヶ崎・岩首地区の魅力を発見・再確認することができた。2学期には、松ヶ崎・岩首地区の食材を使ったお弁当を考案。試作と検討を繰り返しながら完成させ、試食会を実施。シェフの方からも良い評価をいただけた。

今後の取り組みとして、より多くの方に売り出すのか、地域の方への魅力PRとして深掘りするのか、子どもたちとも相談しながら進めていく。

▼中学校教頭より

9月の学校林活動では、これまでより多い7名の地域の方にご協力いただけた。中学生たちの書いた手紙を回覧にまわした成果も出たと思う。今後の継続については金銭面も含めて検討事項も多いが、引き続き取り組んでいきたい。

加えて、来年度の学校行事についても学校よりお話がありました。来年度、中学生の人数が減ることにより、行事をこれまで通り行うことが難しくなることが予想されます。小中連携校であることをより活かすことが学校の魅力化に繋がるのではないかとということもあり、行事や部活等、小中の連携をこれまで以上に強化する取り組み案を小中両校長より提案いただきました。

委員の皆様からは前向きな反応と、「こういう部分もより良くできるのではないか」などさまざまな視点からのご意見をいただきました。当事者となる中学生たちとも相談のうえ、進めていく所存です。



今回は、小学5.6年生と中学生を迎え、総合的な学習の時間を活用して行っている地域おこしの活動について話し合う場も設けました。ツアー班と鬼太鼓部、昆虫博部と魚部、食班と松ヶ崎発信部の3グループにそれぞれ分かれ、自分たちの取組についてスライドも用いながら説明をしました。委員の皆様からは、今後の活動に生きるようなアドバイスや質問をしていただき、最後にはどのような意見がありそれを受けてどのように考えたのか、各グループから発表する場も設け、来年以降の活動にも繋がる有意義な機会となりました。



▼発表内容（一部抜粋）

〈ツアー班〉

地域体験に参加してくれたご家庭にアンケートをとった結果、釣り以外にもやってみたいことがいくつか出てきたので、来年は釣りだけではなく他の選択肢からも選べるように準備したい。海でも山でも、自然の中での活動は危険もあるので、安全面も考慮したい。

〈鬼太鼓部〉

地域体験の一環として鬼太鼓の実演をおこなった。今年は児童生徒のみだったが、来年は早めに準備を進め、笛や太鼓など地域の方にも協力を募りたい。

〈昆虫博部〉

参加者の年代によって伝える内容を変えるのが良いのではないかと意見をもらった。

〈魚部〉

作成予定のパンフレットに入れてほしい項目について聞いたところ、釣れるスポットや魚の種類、入ってはいけない場所といった意見をもらった。

学校運営協議会は、年に4回開催されます。今年度最後となる次回は、みらいずワークス様の協力も得ながら、来年度の学校運営協議会の方向性を定められたらと考えています。

寒さが厳しくなってまいりましたので、健康第一で健やかに過ごしてください。